

7期生 事例研究発表会



2019年2月22日（金）



学内にて3年生による「事例研究発表会」が開催されました。

事例研究とは、実習で受け持った患者さまの1事例を取り上げ、自らが行った看護を振り返って考察するものです。発表会では在校生・教員・実習施設の方々を前に全員が発表を行います。国家試験から5日。3年生にとってはこれが学生生活最後の総仕上げです。

失声・難聴の患者さまとの非言語的コミュニケーションや、認知症患者さまの転倒転落予防、術後患者様の早期離床を促すかわりといったものから、小児科・産科・在宅での看護まで、一つとして同じ事例はありません。学生ひとりひとりがその患者さまのことを思い真剣に向き合った証であり、発表にも自ずと熱が入ります。

発表を終えればあとは卒業式を残すのみとなります。緊張から解放された3年生の表情は一様に晴れやかで、すべてをやり終えた充足感にあふれていました。看護師になれば、1度に何人もの患者さまを受け持つようになります。1人の患者さまとじっくり向き合う機会は減るでしょう。だからこそ、実習で患者さまと向き合った日々のことをどうか忘れないでください。 3年生、お疲れ様でした！！